「思い出」（抜粋）　羽石稔

昭和22年から９年間、川沿小中学校の思い出

『川沿中学校のあゆみ』掲載

私たちは昭和22年４月、新教育制度（六三制）最初の児童として川沿小学校に入学した。当時は終戦後間もないということで、現在とは違った意味での物不足の時代であった。現在では、新１年生は立派な服装にランドセルが一般的であるが、私などは母の手製のカバンに上靴なし、長靴なども新しい物が手に入らないので、継ぎの当たった物をはくといった状態であった。

入学した仲間は40数名であったが途中で富丘小学校が新設され、そちらの方へ10数名が転校していった。

川沿小中学校、私たちは小学校に入学したというよりは「川沿校」に入学したという気持の方が強かった。

入学した頃お世話くださったのも中学生のおねえさん、おにいさん方であったし、何かにつけてもお世話になったものである。そんな訳で小学校の卒業はそれほどの感激はなく、むしろ中学校を卒業するおねえさん、おにいさん方を送るという気持の方が強かったし、卒業しても同じ学校に行ける「入学する」という気持であった。

昭和28年４月、川沿中学校入学。同じ場所、同じ校舎、同じ仲間、先生は変わったがいつも見慣れた先生、ちょっと違ったのは教科担任制ということで教科ごとに先生が変わるということと福山小学校卒業生の新しい仲間が数名加わったという程度であった。

良い意味にも悪い意味にも川沿校は１年生で入学し、９年生で卒業するといった気持を私たちに持たせてくれた学校であった。（略）

＊昭和22年４月１日　学制改革により常呂村立川沿小学校と改称
　　常呂村立川沿中学校併置認可
　　４月１日　常呂村立川沿中学校開校
＊昭和24年９月　川沿中学校校舎増築（普通教室２　廊下55坪）
＊昭和25年４月１日　富丘小中学校開校（川沿中学校から19人移籍）
＊昭和25年10月　川沿中学校校舎増築（普通教室２　家庭科教室１　工作技術教室１
　　計331㎡　玄関改築）